

評議員会 議事録

日 時：2001年1月27日(土)

11時30分～16時00分

場 所：国立天文台 三鷹 講義室

出席者：池内, 井上, 奥田, 海部, 加藤, 木下, 高津, 小杉, 小山, 佐藤(勝), 須藤, 松田, 吉田 以上13名

欠席者：家, 石黒, 上野, 岡村, 小平, 佐藤(修), 鈴木, 高原, 谷口, 中村, 野本, 長谷川, 林, 福江, 福島, 観山, 渡部 以上17名

有効委任状提出者：小平, 高原, 谷口, 野本, 長谷川, 林 以上6名.

他に理事会から田原理事長, 唐牛副理事長, 大石理事, 郷田理事, 立松理事, 松原理事, および, 有本PASJ編集委員, 山岡天体発見賞選考委員会委員長, 中井研究奨励賞選考委員会委員長, 東條事務長が出席
議事に先立ち, 議長に井上 一氏を, 署名人に奥田治之氏, 海部宣男氏を選出した.

議事の経過及び結果

前回(2000年10月6日)の評議員会議事録が報告され, 承認された.

1. 2000年度早川幸男基金とIAU京都総会記念基金の選考結果の報告

大橋選考委員長に代わって, 大石庶務理事より, 2000年度早川幸男基金とIAU京都総会記念基金の選考結果について, 各々報告があった.

2. 未収会費徴収方策について

未納会費の徴収策として会費の督促手数料を導入する件について, 立松会計理事が説明を行った. 理事会では基本方針は承認されているが, 具体的な案の検討を継続してさらに深めていく旨の報告もあった. これに対して, できるだけ早く対策を実施することが望ましいこと, また実施に伴う細則変更に関しては定款との整合性に気を付けて行う必要があるなどの意見が出された.

3. IAUアジア太平洋地域会議の日本での開催について

天文研連と天文学会が共同主催するIAUアジア太平洋地域会議(2002年7月, 日本にて開催)について, 天文研連委員長でもある池内評議員より, 事務局準備会が組織されつつあること, 現在考えられている会議の規模等を含めた準備状況等が説明され, 評議員諸氏に協力のお願いがあった. 関連して, 海部評議員より, 会議を日本が引き受けるに至った経緯の補足説明があり, IAU内にこの会議の開催に責任を負う機関がないなどの不備があるとの指摘があった.

なお, 天文研連との共同主催に関しては理事会(2001年1月13日)で決定済みであり, 評議員会はこれを了承した.

4. 天体発見賞, 林忠四郎賞, 欧文報告論文賞, 研究奨励賞の2000年度の各受賞者の決定

2001年度春季通常総会で表彰する天体発見賞, 林忠四郎賞, 欧文報告論文賞, 研究奨励賞の受賞候補者がそれぞれ山岡天体発見賞選考委員会委員長, 奥田林忠四郎賞選考委員会委員長, 中井研究奨励賞選考委員会委員長より下記のように報告され, 承認された.

天体発見賞：櫻井幸夫氏, 長谷田勝美氏,

高見澤今朝雄氏, 山本 稔氏,

青木昌勝氏, 宇都宮章吾氏,

金津和義氏

天体発見功労賞：門田健一氏，杉江 淳氏

林 忠四郎賞：稲谷順司氏，野口 卓氏（高感度ミリ波サブミリ波検出器の開発）

欧文報告論文賞：深沢泰司氏他7名

ASCA Measurements of Silicon and Iron Abundances in the Intracluster Medium PASJ,
vol. 50, pp. 187 - 193 (1998)

研究奨励賞：山内茂雄氏（「あすか」衛星を用いたX線領域での銀河面サーベイ研究）

また，奥田林忠四郎賞選考委員会委員長より，推薦件数を増やす方策として，選考委員会で検討された以下のような案の紹介があった。

林忠四郎賞に関しては，推薦件数が極端に少ない場合，締めきり後でも一定期間 選考委員会からの追加の推薦を受ける機会を設けること，欧文報告論文賞に関しては，内規に定めてあるように，欧文報告編集委員会に独自の推薦を依頼する。

この案に対して議論を行った後，欧文報告論文賞に関して，欧文報告編集委員会に独自の推薦を複数出すよう依頼する件が承認された。また，両賞に関しては，推薦者の負担を軽減して多くの推薦が出るようにするために，推薦・審査形式の見直しを今後の選考委員会に考えてもらうことが承認された。また，新たな推薦・審査形式の具体例として，第一段階では簡単な書類の提出のみとすること，そしてその中から選 抜された候補者の推薦者へのみ，詳細な資料を用意してもらうといった案が意見として出された。

5. 欧文報告論文賞内規および研究奨励賞内規変更に関して

欧文報告論文賞内規および研究奨励賞内規に書かれている受賞資格はいずれも3年であるが，3年では論文や研究内容の評価が定まっていない場合が多いという指摘がされ，5年と変更することについて議論された。その結果，以下のように内規を修正することが議決された。

○日本天文学会欧文報告論文賞内規第1条 日本天文学会欧文報告に，原則として過去5年間以内に掲載された論文の中から，独創的で天文学分野に寄与の大きい，特に優れた論文の著者に対し，日本天文学会欧文報告論文賞を授与する。

○日本天文学会研究奨励賞内規第2条 日本天文学会正会員で，最近5年間における天文学への寄与が顕著となる者。

また，「日本天文学会定款」に掲載の研究奨励賞内規には“[注]日程”の注書きが入っているが，この注書きが入った経緯を確認することとなった。いずれにせよ，この箇所を削除する提案が出され，議論したのち，削除することが議決された。

6. 2000年度事業報告

2000年度事業報告について，大石庶務理事より説明が行われ，質疑応答の後，承認された。

7. 2000年度収支決算書報告および監査報告

2000年度収支決算報告について立松会計理事より説明が行われた。また，学会監事である小杉評議員より監査報告について説明が行われた。質疑応答の後，収支決算報告・監査報告がともに承認された。また，小杉評議員より，監事から理事会に別途に提出された事業内容および会計に関するコメントに関して説明があった。

8. PASJとUAP間に生じている紛争について

PASJの製作・販売を委託していたUAPから，支払う必要のない極めて多額の請求が来ており，債権・債務関係の紛争が生じている件の経緯について，大石庶務理事および有本PASJ編集委員から説明があった。また本問題の解決のために，理事会としては，弁護士を通じて断固たる態度で対応していく方針である旨の報告が行われた。質疑応答の後，評議員会も理事会の方針を支持していくことが承認された。また，今回のトラブルの経過など整理し，今後の運営を進める上での参考とすることとした。

9. その他

1. 新しい賞の設定について

大学院生およびポスドクを対象とした研究奨励的な賞，および，女性研究者を対象とした賞を天文学会において新たに設ける案が提案され，議論された．その結果，賞の制定に向けて今後理事会で検討することとなった．

2. 不適切な年会講演申し込みに関して

加藤評議員より，年会講演申し込みの際にアブストラクトが1行程度しか書いていない，低レベルのものが提出されているという指摘があり，これに関して意見交換を行った．また，現在でも年会実行委員長には不適切な年会申し込みを拒絶する権限があることを再確認した．さらに，会員に注意を喚起するため，総会等の場で広く周知を計るよう理事会に依頼した．

3. 名誉会員について

名誉会員のありかたについて，意見交換を行った．

4. 次回評議員会について

次回評議員会の予定を以下のように決定した．

3月27日(火)

2001年2月21日

議長 井上 一 印
署名人 奥田治之 印
署名人 海部宣男 印

[天文学会ホームページに戻る](#)